



TITLE:

編集後記 (泌尿器科紀要 第49巻第  
6号)

AUTHOR(S):

---

CITATION:

編集後記 (泌尿器科紀要 第49巻第6号). 泌尿器科紀要 2003, 49(6): 370-370

ISSUE DATE:

2003-06

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/114973>

RIGHT:

4. 論文の訂正：査読審査の結果，原稿の訂正を求められた場合は，40日以内に，訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて，前記泌尿器科紀要刊行会宛て送付すること，なお，Editor の責任において一部字句の訂正をすることがある。
5. 校正：校正は著者による責任校正とする。著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
6. 掲載：論文の掲載は採用順を原則とする。迅速掲載を希望するときは投稿時にその旨申し出ること。
  - (1) 掲載料は1頁につき和文は5,500円，英文は6,500円，超過頁は1頁につき7,000円，写真の製版代，凸版，トレース代，別冊，送料などは別に実費を申し受ける。
  - (2) 迅速掲載には迅速掲載料を要する。5頁以内は30,000円，6頁以上は1頁毎に10,000円を加算した額を申し受ける。
  - (3) 薬剤の効果，測定試薬の成績，治療機器の使用などに関する治験論文および学会抄録については，掲載料を別途に申し受ける。
7. 別冊：実費負担とし，著者校正時に部数を指定する。

#### Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts, tables and figures must be submitted in three copies. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, key words (no more than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.  
e.g.: Yamada, et al.: Prostatic cancer · PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, the director's name, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details, refer to a recent journal.

### 編 集 後 記

別に家族や教室員が悪いわけではないが，最近あまり楽しいことが無い。私の日常生活や仕事における理想は，「朝目を覚ました時に，今日も頑張るぞという気持ちになる」ことである。ところが最近は朝起きたとき少し気が重いのである。不況や国際情勢の不安定さを叫ぶメディアの声を聞き過ぎたり，巨人が絶不調であることも一因かもしれないが，心の底から楽しんだり，喜んだり出来ないのである。

政情も不安だが，我々医療者自身の今後大変不安定である。大学病院でも「独立行政法人化」「卒後臨床研修必修化」「包括医療」「安全管理」と難題が山積みされている。そして，最も大きなストレスは，これらの難題にどう対処していったらよいか誰もはっきりした指針をもっていないことである。全ての難問には，臨床，教育，研究が深くかつ複雑にからみあっている。大学病院の場合，医学教育，医学研究，さらには経営収支を含めた実地診療のいったいどれをトッププライオリティーにもっていったらよいのだろうか。いままで通りプライオリティーなど決めずに曖昧にするほうが良いというような意見すらある。本当にそれで良いのだろうか。プライオリティーの順番さえ決まれば私の朝の目覚めも良くなるように思うのだが。

(小川 修)

---

泌尿器科紀要 第49巻 第6号 2003年6月25日 印刷 2003年6月30日 発行  
 発行 小川 修 顧問 吉田 修 発行所 泌尿器科紀要刊行会  
 〒606-8392 京都市左京区聖護院山王町18 メタボ岡崎301号 電話 (075) 752-0100  
 FAX (075) 752-0190

[http://web.kyoto-inet.or.jp/people/acta\\_uro/index.html](http://web.kyoto-inet.or.jp/people/acta_uro/index.html)  
 印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入

---